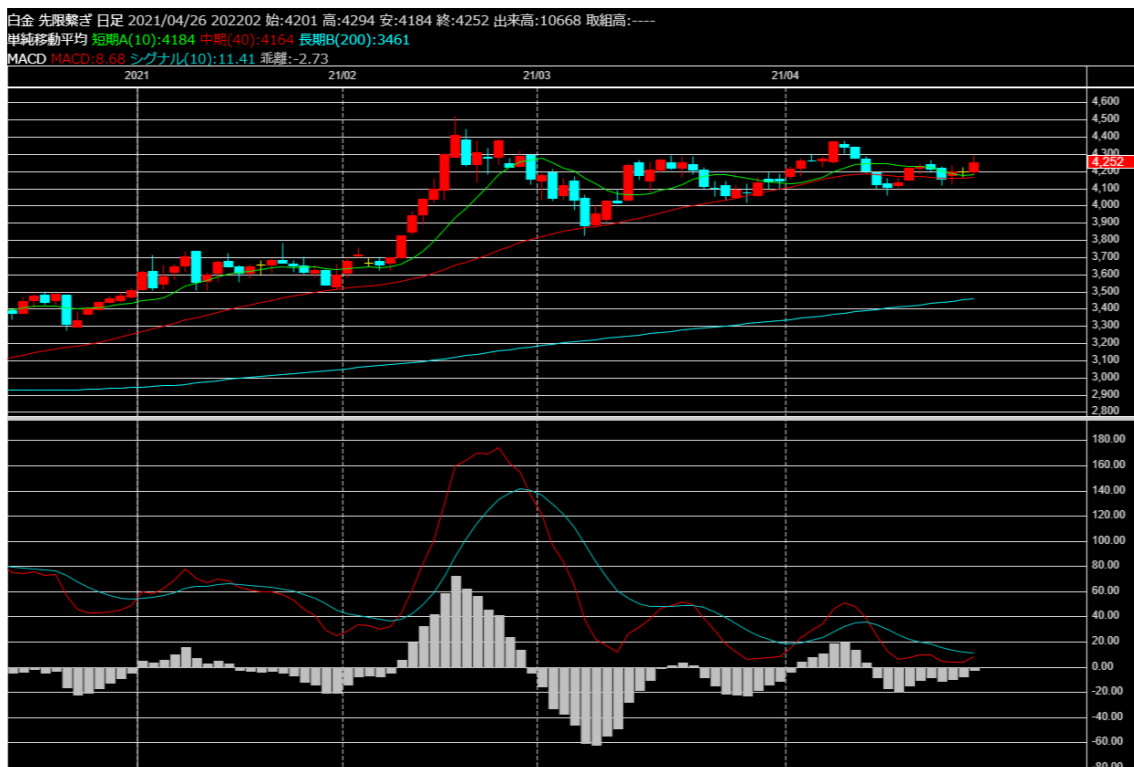


＜白金標準：4378 円に向けた上昇期待＞



(出所：オアシス)

今週の白金標準先物は、先週に PGM のパラジウムが世界 1 位の生産を誇るノリリスク・ニッケルで発生した水漏れ事故による生産減少と景気回復や排ガス規制強化に伴う需要増で投資銀行のシティは 3 ヶ月以内にパラジウムが 3200 ドルに達すると予想するなど、大阪取引所のパラジウムも 1 週間で 400 円の上昇を行なっている。そのため PGM の白金は NY 市場で 1200 ドルを下回る事無く維持されており、大阪取引所の白金標準先物でも今週は 4 月 7 日に付けた高値 4378 円に向けて上昇を強めて来る週となるのではないかと。

(2021 年 4 月 25 日記載)

＜テクニカル＞

MACD では、MACD が強気のプラスサイドを維持しながら切り上げ、シグナルは切り下げされており、MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムも縮小している。特に MACD とシグナルのクロスが発生した場合は新規買いのサインであり、今週早々にそのサインが発生する確率が高く、強気の姿勢を維持するのが良いと考えている。

＜データ＞

NYMEX 指定倉庫在庫（トロインオンス）：698,034（先週比：+6,195）

白金ETF残高（トン）：75.28（4 月 21 日現在）